

11月26日夜間例会クラブフォーラム ロータリー財団月間に因んで

ロータリー財団委員会・猪熊哲彦委員長他

寒くなってきました。明日、忘年会がありました、今年も終わりに近づいてきて何かあわただしくなってきました。体調に気をつけ年末年始を迎えましょう。昨日、宇部東クラブで地区のロータリー財団の研修会がありミスターロータリー財団の東谷さんと参加してきました。後で、東谷さんから話があると思いますので私からは少しだけお話しします。先週も話しましたが、1917年アーチーCクラフRI会長の時、基金の設置を提案し始めました。2017年に100周年を迎えます。最初はなかなか基金が集まらなかったようですが1947年ホルバリスの逝去に多くのロータリアンから寄付が集まり1947年には最初の財団プログラムが実現されました。「国際障害児協会」のために500ドルの小切手を送ったとあります。今回の研修の主な目的はロータリー財団の補助金「地区補助金とグローバル補助金」の活用について話されました。因みに今年度2710地区での「地区補助金申請が」20件で受理されたのが17件グループ2では宇部クラブと宇部西クラブが受理されました。グローバル補助金は10件あります、来年度の申請は今年度の・来年の3月までになるのでそろそろ準備をして地区にも事前に相談しておかないと思います。宇部クラブのロータリー財団、年次寄付1人当たりの寄付額は2710地区74クラブで、5番目になっています。ところがホリアのクラブ寄付は、ここ何年まったくしていないのが少し気になりました、ホリア寄付のないクラブは今年度2710地区で13クラブあります。本日のクラブフォーラムで「地区補助金とグローバル補助金」やロータリー財団の今後の方向性を話し合ひましょう。